

わかくさ

社会福祉法人 栄光会

〒787-0155 高知県四万十市下田2211

・児童養護施設 若草園

Tel (0880) 33-0247

Fax (0880) 33-0518

・児童家庭支援センター わかくさ

Tel (0880) 33-0258



ボーイスカウト(カブ隊)活動で
チーム対抗ゲームに興じる子どもたち



子どもたちの成長

園長 沓野一誠

平成20年度に開始した新しい事業に、低年齢児の受け入れがある。

それまで高知県には0歳児や1歳児を受入できる施設は高知市内にしかなかった。幡多地域からはあまりに遠いことから(若草園からでも約120キロ)、地域や県からの要望もあって、

新園舎の建設時にベビー室を設けた。

ベビー室に最初に入所してきたのは3人の1歳になったばかりの赤ちゃんだった。まだ立って歩くこともできなかった子どもたちだったが、いつの間にか歩けるようになり、言葉もしゃべれるようになった。職員は慣れない赤ちゃんの世話に最初の頃はだっこしたり、おむつを替えたりするにも何となくぎこちなさを感じられたが、次第に慣れていった。

夜中の授乳やおむつの交換、風邪など引かせないようにと気を遣い、毎朝の検温、排便のチェックに食事の介助等々、実に細やかにケアしてきた。けれども、この年齢の子どもにもよくあるように、3人とも病院通いが途切れることはなかった。小児科、耳鼻科、眼科、そしてA君の脳波検査、リハビリ……。

そんな3人がいつの間にか大きくなり、そのうちの一人B子ちゃんは3歳になってこの4月から幼稚園に通うようになった。生活の場もベビー室を卒業してお兄さん、お姉さんたちと一緒に小舎に移った。移った当初は泣いたりぐずったりしないかと心配したが、お兄さんお姉さんたちが優しくしてくれたり面倒をみてくれるのでうまくとけ込めたようである。残った2人ももうすぐ3歳になる。

毎日の子どもの世話は大変だけれど、子どもが成長するのは早い。特に低年齢の子どもたちが成長していく姿に、職員や子どもたちが共に感動させてもらった。ベビー室を設けて本当に良かったと思う。

3.13 若草園卒園式
4名の者が就職・進学して巣立って
きました。送る言葉を聞く卒園生。



2.21 第17回定期演奏会
土佐中村一条太鼓に8名の児童が参加し
ており、定期演奏会にも出演させてい
だきました。



3.6 パーベキュー・パーティー
この日はお別れ遠足の予定でしたが、
あいにくの雨で、お隣り下田中学校
のお庭を借りて楽しみました。



作文コーナー



「ありがとう」励みに

——新聞をぬらさない
——新聞は商品。1部も無駄にしたくない——
宿毛工業高校1年 M・S君

四万十川河口にほど近い下田地区の約30軒を担当。毎朝5時半に起き、配達時間帯には川向こうの西の空に、月がまだ浮かんでいることもある。「朝の月は優しい感じがして好き」。嫌なことがあっても、「見ると心が休まる」という。繊細な心の持ち主だ。

新聞配達は、先輩から2年半前に引き継いだ仕事。高校ではバスケットボール部に所属し、「足腰を使う配達は「朝練」みたいなもんです」とにっこり。一番気を遣うのは、新聞を雨にぬらさないこと。1年目の冬。数軒配り終えたところに、いきなりみぞれ交じりの大雨が降ってきた。あいにくその日は、新聞用の雨よけカバーを持っていなかった。とっさに思い付き、自分のジャンパーを脱いで新聞を覆った。体は冷たい雨でびしょぬれになったが、新聞は一部も駄目にせずに残りの家々へ配りきるこ
とができた。

家庭の事情で、大好きな母と離れての暮らしが長いが、お盆や正月は一緒に過ごす。M君にとって何物にも代え難い大切な時間だ。その時はもらった給料で「母の好きなショートのケークと、ピンクの花を買っていきます」。ちよつと照れくさそうに笑った。
(記者・久保俊典)

この記事は高知新聞2009年10月18日(日)号『きょう「新聞配達の日」』、「新聞少年の日」の特集で掲載されたものです。引用について、高知新聞社の了承済み。

子どもたちの活動

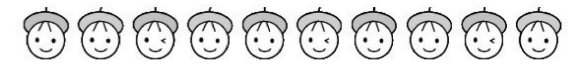
1.31 高知かるた会
高知県出身の文芸家・黒岩涙香が現代の百人一首競技かるたの礎を築いたとされる伝統的な催し物に参加しました。



'09.12.23 クリスマス礼拝・祝会
日本キリスト教団中村栄光教会から牧師をお招きして、お祝いします。イブの夜にはキャロルにも出かけます。



'09.12.20 餅つき
毎年、中村ロータリークラブの皆さんが餅つきに来園してくださっています。子どもたちも楽しみにしています。



3年前まで大舎では子どもと職員が一同に集まって、毎月1回、その月の誕生日児童をお祝いしておりました。小グループ制の小舎になってからは、誕生日にあわせて、各ホームで誕生会をするようになりました。
職員手作りのケーキに誕生日の子どものリクエストに合わせてメニューで、ちよつとしたパーティーをして、園からのプレゼントもあります。この時はみんな、とびっきりの笑顔です。

若草園の子どもたち



「子どもさんびか80」
1、生まれるまえから 神さまに まもられてきた
ともだちの たんじょう日です おめでとう
2、生まれて今日まで みんなから 愛されてきた
ともだちの たんじょう日です おめでとう

新年度の職員配置

各ホームで一部異動がありました。ほぼ昨年度どおりです。結婚されて2名の姓が変わりました。



■Aホーム 瀧澤 愛 新開 力 土居佐枝子



■Cホーム 森田佳代 山中亜理佐 所谷 英

■平野ホーム
岡崎光子 尾崎久美子 福留久男

■ベビールーム
森 初美 宮田京子 (宿直応援: 井垣裕子 瀬戸雅弘)

■事務 片山幸一 瀬戸雅弘

■園長 沓野一誠 ■副園長 福留久美



■Bホーム 森田涼子 中村 奏 城 めぐみ



■Dホーム 横山貴実子 森本真菜 小松伸雄

■具同ホーム
吉永直子 柿内多津子 瀧澤 勝

■調理
上岡稔子 植木福美 前田チヅル

■心理 橋村貴美子 (旧姓 田口)

■児童家庭支援センター 植木美和 所谷路子 (旧姓 上浦)



1月12日にカリブ海に浮かぶ島国ハイチ共和国で起こった地震の復興支援募金をしました。

ちよつと担任の先生が通りかかって募金してくれました



ボーイスカウト活動



2.19 実施

☆ハイチ地震の募金活動
☆サニーマート四万十店とフジグラン四万十
☆11:45~12:30
☆参加人数 スカウト32人 リーダー5人
☆結果 ¥34,687

(この活動が翌日の読売新聞 高知県ページに掲載されました。)



▶寒い日でした

ボーイスカウト高知県連盟 中村第1団は若草園で組織する団体です。



ガーデンパーティー開催の

★お知らせ★

5/23 (日)

11:00 ~ 14:00



▶子どもが描いたチラシ

『ガーデンパーティー』は、若草園を地域の方々へ開放して、毎年恒例で行われております。前回、落成式の直後に開催いたしました。ご好評を頂いております。

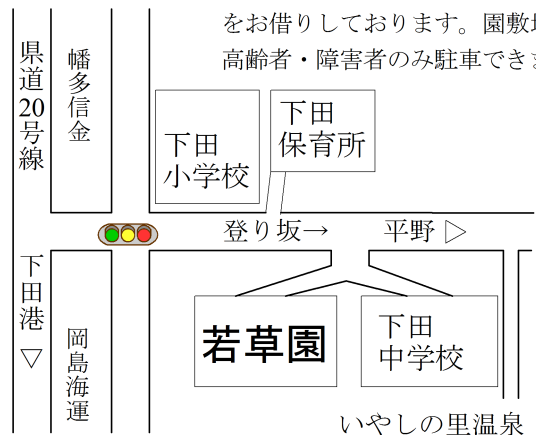
昨年は11月に開催予定しておりましたが、新型コロナウイルスエンザの流行により中止させていただきました。

今年5月23日(日曜日)午前11時から午後2時、園庭にて実施します。

軽食の売店があります。(焼きそば、カレーライス、ちらし寿司、からあげ、そうめん、クッキー、ゼリー、ソフトドリンク、アイスクリンなど)

施設見学のよい機会になればと考えております。雨天の場合はホールにて開催します。どなたでもお気軽においでください。入場無料です。

当日は中学校のご好意により駐車場をお借りしております。園敷地内には高齢者・障害者のみ駐車できます。



じか ～ 児家センだより ～

児童家庭支援センターわかくさは開設して3年目を迎えました。わたしたちは地域の身近な相談機関として親子ともに笑顔で過ごすお手伝いができればと活動しています。昨年度は、高知オレンジリボンキャンペーンを実施し、たくさんの皆様にご協力いただきありがとうございました。

これからも地域の皆様と連携・協力し、子育て中の家庭に寄り添いながら、子どもたちの健やかな成長のために活動していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

～平成21年度後期～ 苦情解決報告

- よせられた件数：0
- 平成21年10月1日～翌3月31日の間はありませんでした。